

審議会等の会議結果報告

| | |
|-------------|---|
| 1. 会議名 | 平成23年度第3回美杉地区地域審議会 |
| 2. 開催日時 | 平成24年3月26日(月) 午前10時00分から午前11時30分まで |
| 3. 開催場所 | 津市美杉総合開発センター2階委員会室 |
| 4. 出席した者の氏名 | <p>【美杉地区地域審議会委員】</p> <p>大西順子、岡田武士、岡田恒幸、坂本朝江、鈴木八重子、辻谷美喜子、水井達雄、村田豊、結城晋三</p> <p>【事務局】</p> <p>総合支所長 矢倉千年、 副総合支所長兼地域振興課長 田中稔、 地域支援員 谷俊樹、 地域振興課危機管理担当副参事 澤幸男、 地域振興課産業振興・環境担当副参事 水本明廣、 市民福祉課長 中西義照 地域振興担当主幹 田中敬二 地域振興担当副主幹 藤田千晃、</p> |
| 5. 内容 | <p>(1) 議題</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 平成23年度津市過疎地域自立促進計画(地域かがやきプログラム)事業について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 平成24年度地域かがやきプログラム事業概要について (2) 津市美杉総合文化センター整備事業推進委員会について</p> <p>閉会</p> |
| 6. 公開又は非公開 | 公開 |
| 7. 傍聴者の数 | 1人 |
| 8. 担当 | <p>美杉総合支所地域振興課地域振興担当</p> <p>電話番号 059-272-8082</p> <p>E-mail 272-8080@city.tsu.lg.jp</p> |

9. 議事の内容 (下記のとおり)

岡田会長

それでは、定刻になりましたので、ただいまから、平成23年度第3回美杉地区地域審議会を開会させていただきます。

当会議は、会長が会議の議長になるということでございますので、私の方で会議を進めさせていただきます。会議の進行につきましては、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最初に、本日の会議は、委員12名中9名の出席をいただいております、会議は成立いたしますので、ご報告申し上げます。なお、当会議は、公開いたします。会議の傍聴、報道機関からの撮影等の申し出につきましては、許可をいただきたいと思っておりますので、ご了承を賜りたいと思っております。

また、会議録を作成し公開をいたしますことから、会議内容を録音させていただきますので、合わせてご了承いただきます。

次に、本日の会議録署名委員を指名させていただきます。村田豊委員、結城晋三委員をお願いいたします。それでは、事項書によりまして会議を進めさせていただきます。美杉総合支所長より、ごあいさつをいただきます。

矢倉総合支所長

みなさん、おはようございます。何かとお忙しい中、地域審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は、平成23年度の最後の審議会ということと、みなさまに2年間お願いしておりました任期の最後の審議会でございます。振り返りますと、昨年度は、美杉地域にとりましては、非常に重要な計画であります、津市過疎地域自立促進計画の策定の年でありました。計画の策定にあたりましては、当審議会におきまして、ご協議、ご検討いただき策定することができました。ありがとうございます。現在この計画に基づき事業展開をしているところでございます。また、津市総合計画中間見直しにおきましても、当地域にとって重要な課題等につきましても、いろいろご協議をいただいたところでございます。本当にありがとうございます。合併後、6年を経過しましたが、地域におきましてはまだまだ克服しなければならない課題が山積しており、美杉地域の住民のみなさまとともに、一步一步課題克服のために、進まなければならないと考えております。

本日は、事項書にありますように、協議事項1件、報告事項2件ということでございます。限られた時間内ではございますが、ご審議のほどよろしくお願いを申し上げます。簡単ではございますが、開会にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。本日は、何とぞよろしくお願い申し上げます。

岡田会長

ありがとうございました。

それでは、3の議題に入りたいと思います。

協議事項 1 の「平成23年度津市過疎地域自立促進計画（地域かがやきプログラム）事業について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

田中地域振興課長

失礼いたします。それでは、資料1をご覧ください。「平成23年度津市過疎地域自立促進計画（地域かがやきプログラム）事業について」の説明をさせていただきます。

地域かがやきプログラムの中の南部エリアにおきましては、健康で暮らせる自然と歴史の地域づくりとして、3つのプログラムで構成をし、事業を進めています。

これは、それぞれの事業につきまして、平成23年度の目標設定、評価を行い、そして、それに基づき平成24年度の目標設定を行い、進行管理をしている表です。

平成23年度はまだ終了していませんので、現時点での暫定評価としての取扱いであることをご了承いただきたく、よろしく願いいたします。

まず一つ目の「健康で元気なひとづくり」の中の、「連帯意識に根ざした心の豊かなコミュニティの形成」として、本年度の目標設定を、地域活性化事業計画を策定された地域づくり協議会への支援を行い、集落機能の再生に向けた取り組みを推進し、活動を牽引していくリーダーやキーマンとなるべき人材を育成することと、各協議会活動の連携や競争による活性化を図るために連絡協議会を設置し情報共有を図ることを設定させていただきました。

これら目標設定による評価としましては、地域の話し合いの場として地域が主体となった地域づくり協議会に支援を行なってきている中で、活動の芽吹が見られ、これら協議会と津市森林セラピー基地運営協議会・伊勢本街道を活かした地域づくり協議会・美杉地域新食材育成活性化推進協議会との連携により、美杉地域が一体となった地域づくりの推進と地域の活性化を図るための「美杉地域まちづくり推進連絡協議会」も立ち上がり、一体的な取り組みがスタートできました。

内容としましては、各協議会のリーダーを育成する研修会の開催や、活動等の発表イベントとして、みすぎ秋まつりと美杉地域交流イベントを開催し、また、地域における医療を考えるフォーラム、ワークショップへの参加等、地域における課題把握と今後の取組についての方向性を見出すことが出来たと思います。

次に、これら評価に基づき平成24年度の目標を地域づくり協議会が、地域の主体となった話し合いの場として集落機能の再生に向けた活動を引き続き推

進し、支援していく。また、美杉地域内の各協議会との連携により一体となった地域づくりの「美杉地域まちづくり推進連絡協議会」の中で、リーダー等の人材育成や各協議会の共通課題に対する対策を進めまちづくりの推進を図ることとしました。

過疎地域自立促進計画の構成の中では、集落の整備の中の集落機能再生事業に位置付けられています。

次に同じく「暮らしの安心づくり」の、本年度の目標設定を地域住民の健康づくり支援や高齢過疎地域における一次医療制度の確立及び地域の実情に合った末端公共交通システムの設置に向けた調査研究と、公共施設を活用した健康相談事業の実施とコミュニティ施設等へのAEDの配置により、暮らしの安全づくりを進めていくこととし、また、美杉総合文化センター整備基本設計及び実施設計に着手し、行政、防災、コミュニティ、保健、文化等各種機能複合施設整備を過疎地域自立促進計画期間内に完了に向け、市民委員会とともに着実に事業を推進することを設定しました。

この事業による評価としまして、地域づくりの健康づくり支援や高齢過疎地域における一次医療制度の確立に向けた調査研究の推進を図るため、まちづくり推進連絡協議会と共にフォーラム・ワークショップを重ね、地域住民の意識・課題を把握することから、過疎地域における医療の今後の取組として地域住民が主体となって学び考えていくとの方向性を見出せることができました。

また、この中から、地域の実情に合った末端公共交通システムの体制づくりの必要性から、地域の中からシステムづくりを考えていく体制を整える進め方で、専門家等の意見を聞きながら研究を図りました。また、公共施設を活用した健康相談事業の実施と集客施設やコミュニティ施設へAEDを配置し、暮らしの安全づくりを進めました。

また、美杉総合文化センターにつきましては、美杉総合文化センター整備基本設計委託、地質調査委託、旧美杉東小学校解体設計委託、庁舎・総合開発センター解体設計委託、アスベスト調査委託、進入路工事を実施し、事業を推進しました。

これらの評価に基づき平成24年度の目標を、健康で元気な人づくり及び暮らしの安心づくりをめざし、地域にある課題等についての調査研究を進めるとともに、地域における健康づくりの推進に努め、また、公共施設へのAEDの配置と地域健康相談事業の継続により暮らしの安全づくりを進めることとしました。

美杉総合文化センター整備実施設計及び、旧美杉東小学校校舎解体工事を完了し、平成26年4月の施設供用開始に向け着実に事業を推進します。

過疎計画においては、高齢者等の保健及び福祉の向上の中の森林セラピー基

地を活用した健康づくり事業、及び医療の確保の中の地域医療と健康推進による地域づくり事業とAED配置事業に位置付けられています。

次に、2つ目のプログラムの、「自然の恵みの価値創造」として、「森林を活かしたヘルスツーリズムの推進」として、平成23年度の目標設定は、森林セラピー基地運営協議会を主体とした基地活用イベントの開催や、セラピーガイド等の人材の育成、各拠点における拠点独自の活用方法の検討を行い、地域主体の基地運営のための基盤を確立し、行政と協議会が協働により、セラピーロード等の整備や基地活用促進のためのPR事業を進め、交流人口の更なる拡大に努めることとしました。

この事業の評価としまして、行政と協議会が協働により、セラピーロード等の整備や基地活用促進のためのPR事業を進め、交流人口の更なる拡大に努める中で、森林セラピー基地運営協議会を主体とした基地活用イベントに、518の方が森林セラピーを体感していただき、また、新たな森林セラピーロードの追加申請をし、認定を受け、美杉地域全域に全12コースの趣の違ったコースを提供できることとなりました。

平成24年度の目標設定を、森林セラピー基地運営協議会を主体とした、ロード整備やPR、各種イベントを引き続き実施し、これら事業についても内容を重視した取組に移行し、各拠点部会を中心とした事業を活発化させ、拠点どうしの競い合いから森林セラピー基地事業の充実と集客向上による地域の活性化を図ることと設定しました。

過疎計画においては、集落の整備の中の、森林セラピー基地運営事業に位置付けられた事業です。

つぎは、同じく「自然を活用した産業の活性化」としまして、平成23年度の目標を、地域の森林を活かし、菌床ブロックによる栽培をめざすオオイチョウダケの新しい食材としての特産品化のための調査研究を引き続き実施し、地域の特産品として確立するとともに、河川の復活をめざした稚鮎の養殖研究に着手し、鮎釣り客の復活による交流人口の拡大をめざすことと、地域の特産品のPR拡大及び地域のPRのための観光物産展を地域主体で開催し、特産品販売の向上と地域の認知度拡大に努めることとしました。

評価としましては、地域の森林を活かし、菌床ブロックによる栽培をめざすオオイチョウダケの新しい食材としての特産品化のための調査研究を引き続き実施してきました。

また、河川の復活をめざした稚鮎の養殖研究に着手し、養殖の可能性を見出せることが出来たと評価しました。今後は徐々に養殖規模を拡大しながら研究を重ね、地元河川に適合した鮎に育て釣り客の復活による交流人口の拡大をめざすこととしました。また、地域の特産品のPR拡大のための観光物産展につ

いて、美杉物産協議会により物産販売の向上と地域の認知度拡大に努めました。

これら事業について総合計画前期基本計画の一定の目的は達成されたと考えます。

平成24年度の目標設定として、美杉地域新食材育成活性化協議会事業や、物産事業については、支援の完了を迎えましたが、自立可能な状況ではないため美杉地域まちづくり推進連絡協議会において、6次産業化を目指す中で地域の特産品として確立を図ることとします。

過疎計画では、産業の振興の中の新食材育成活性化事業に位置付けられた事業です。

つぎは、同じく「豊かな自然環境の中での居住」としての平成23年度目標を、田舎暮らし体験や田舎暮らしアドバイザーなどの制度を活用した空き家情報バンクの一層の利用促進と空き家等の地域づくりの拠点施設などへの利用により、空き家の解消による移住・交流事業の推進を図り、空き家情報バンクの更なる利用促進のため、利用者のための空き家改修費補助制度を設置することとしました。

評価としまして、田舎暮らし体験や田舎暮らしアドバイザーなどの制度を活用した空き家情報バンクの一層の利用促進と空き家等の地域づくりの拠点施設などへの利用により、空き家の解消による移住・交流事業の推進を図る中で、利用を希望する登録者は260件になっています。その中で、空き家の物件を登録いただくPRの中で市の固定資産税の納付書への掲載や、まちづくり推進連絡協議会において、地域の景観維持・環境保全の取り組みから、空き家の確認調査をしていただきました。また、空き家情報バンクの更なる利用促進のための空き家改修費補助制度を設置し、4件の補助を行いました。

平成24年度は、田舎暮らし体験や田舎暮らしアドバイザーなどの制度を活用した空き家情報バンクの一層の利用促進と空き家等を利用した地域づくりの拠点施設の利用促進により、移住・交流事業の推進を図り、空き家情報バンクの更なる利用促進のため、利用者のための空き家改修費補助制度のPRと活用を推進していきます。

過疎計画では、集落の整備の中の、移住・交流促進事業、空き家情報バンク利用促進事業、空き家活用促進事業で位置付けられています。

最後、3つめのプログラムとして、「歴史と文化の拠点整備」として、平成23年度目標の設定として、遺跡等周辺整備については、地域に設置された協議会とともに教育委員会部局により、事業を進めることとしました。また、各種伝統文化の継承のため、地域に根付いている桜まつり、夏まつり、秋まつりの維持継承のための援助を行う事としました。

これに伴う評価としまして、各種伝統文化の継承のため、地域に根付いてい

る桜まつり、夏まつりの維持継承のための援助を行い、秋まつりについては期間を延長した中で、まちづくり推進連絡協議会のイベントも同時開催し、地域と一体になったものとし、今後の維持継承のための援助を行いました。

平成24年度の目標は、平成23年度の目標設定と同じとしました。

過疎計画では、地域文化の振興、歴史と文化の拠点整備事業、伝統行事等継承事業に位置付けています。

次の、伊勢本街道を活かした地域づくり事業としての平成23年度目標は、地域に設置した協議会を主体に、サイン整備等を行ってきた伊勢本街道沿線地域において、来訪者との交流拡大及び地域における経済性の向上のための取り組み調査及び研究に着手し、地域観光ブランドの確立をめざすこととしました。

評価としましては、伊勢本街道を活かした地域づくり協議会を主体にサイン整備等を行ってきた街道沿線地域において、来訪者との交流拡大及び地域における経済性の向上のための取り組みとして、大阪総合デザイン専門学校と共に、調査及び研究に着手し、地域観光ブランドの戦略としての基本計画を策定しました。

平成24年度の目標は、平成23年度大阪総合デザイン専門学校と共に地域観光ブランドの戦略として策定した基本計画の実現に向けた取り組みを推し進めるとともに、街道沿線地域においての来訪者との交流拡大を図るため、伊勢本街道を活かした地域づくり協議会とともに輪を広げた地域づくりを図ります。

過疎計画では、産業の振興の中の伊勢本街道を活かした地域づくり事業に入ります。

以上が地域かがやきプログラムの南部エリアにおける事業の評価として報告をさせていただきます。

岡田会長

ありがとうございました。説明は以上のとおりでございます。

ただいまの説明のとおり、過疎地域自立促進計画(地域かがやきプログラム)事業評価に係ります説明がございました。

このことにつきまして、皆様のご意見またはご質問をお受けしたいと思いません。どうぞよろしく申し上げます。

先ほど田中課長の方からたくさん事業の説明をいただきました。地域かがやきプログラムの中の南部エリアにおいての健康で暮らせる自然と歴史の地域づくりの3つの部分になるものを構成していただいたという事で、それぞれ説明をいただきました。まちづくり連絡推進協議会の設置やセラピー基地運営協議会の活動、それらを含めましていろいろと事業を進めていただきました。

皆様方のご意見をお聞きしたいと思います。

水井委員

一番気になっておりますのは、新食材のイチョウダケが思いのほか、不順で当初の計画通りっていないので、今後どう考えていただいているのか、方向性ありましたらお聞かせ願いたい。

矢倉総合支所長

新食材につきましては、3年間、市とともに事業をさせていただきました。

今、水井委員さんが言われましたように、なかなかオオイチョウダケが育たなかったという現状がある訳ですが、今後、どうしていくかという問題については、もう少し具体的な戦略を持った中で臨むと言う形でいかないと、3年間という限定的な支援ということでございましたので、次は、内容としては同じになるかと思いますが、市からの支援を求めるとなれば、3年間の検証を具体的に進めた中で、今後の方向性を満たしていく必要があるということで、24年度の予算計上はしておりません。新たな方向性を24年度の中で導いていく必要はあると考えております。

岡田会長

先日もイベントの中でオオイチョウダケのご飯をいただきましたが、美味しかったし、においもよかったです。何とかなればと私も思っております。それと、稚鮎も取り組んでみえるということですが、それはどうでしょう。

田中地域振興課長

昨年から、施設そのものを造っていただきまして、その研究も重ねていただいております。まだまだこちらの方も、取りかかった状態でございますので、まちづくりの連携の協議会の中で、他の協議会の支援をいただきながら、今後の成果を見つつ取り組んでいただけるものと思っておりますし、成果を見ながら今後市からの支援も考えていきたいと思っております。

岡田委員長

他にございませんか。

結城委員

医療の確保ということで、質問ですが、一志病院を主に置いて、医療の確保を考えてもらっているのか、三重県全体で考えてもらっているのか、救急車で病院に行っても、たらい回しにされるという状態で、医療の確保はどこまでが行政でとらえられるか、どこまで進んでいるのか、聞かせてください。

田中地域振興課長

地域医療に関しまして、フォーラムという形の中で、一志病院の過去から老人の施設的な所から、一志病院の先生方の新たな地域への医療と確立のために受け入れの可能性も含めて、訪問看護とか、一志病院の先生方は取組んでいただいております。

美杉地域にとりまして、一志病院の存在は、当初、お年寄りの施設かと思え

ていたところから、先生方も地域に根差した医療を目指すということで取り組んでいただいております。

お聞きするところによりますと、救急病院ではございませんが、もし救急的な措置が必要であれば、電話一本いただければ、対応も可能だということも聞いておりますし、そのことにつきましては、私ども職員の方が地域医療について、政策的な勉強もさせていただいて、今後24年度につきましては、一志病院と美杉地域の関わり、医療の在り方ということを含めて、勉強や取り組んでいきたいと思っております。

一志病院は、美杉だけでなく、白山地域もありますし、市の医療政策の中で、どのような位置付をするのか、市長の話でもありました地域医療の話は出ておりましたし、県の病院でもございます。津市全体の中でも担当部局が出てきますので、連携しながら、住民の方々のご意見も聞きながら、課題に取り組んでいきたいと思っております。

結城委員

一志病院を救急病院にしてもらったなら、美杉地域としたら、非常にいいと思います。救急患者を即受け入れてくれると助かります。

受け入れ体制がないと、病気のあるものは、不安と違うやろか。近い所に一志病院があるんやで、行政が働きかけてもらって、救急病院にしてもらったなら有難いと思います。そういう方向で取り組んでいただきたいと思います。

岡田会長

ご意見ということで聞かせていただきます。

他にございませんか。

大西委員

くらしの安心づくりの中で、AEDの配置個所の中で、公共施設に配置してもらいましたので、常時職員さんがみえる所は、すぐ対応していただけると思うのですが、みえない場合、住民も少しは勉強をしておいた方がいいと思います。

もうひとつ、ゆたかな自然環境の中の居住の方で空き家改修の改修補助が出てきた訳ですが、空き家になっている家はかなり古いと思いますので、耐震関係も不安です。予算もたくさんかかってくると思いますが、そこら辺はどう考えているのか、お聞きしたいと思います。

田中地域振興課長

AEDにつきましては、各出張所、公共施設のレークサイド、道の駅そういったところのほうに設置をしました。担当職員、総合支所職員全員にAEDの使用について研修を受けてもらいました。

各地域におきましても、24年度につきましては、心肺蘇生法の改正等もあ

ると聞いておりますので、地域住民の方々と共に勉強する機会をつくらせていただきたいと思っております。各地域のみなさんに挙ってご参加いただければと考えております。

空き家の改修補助制度ですが、現在、水まわりという部分につきまして、補助をさせていただきます、上限を50万円としております。空き家の方は、かなり傷んでおり、耐震、雨漏等大規模になってきますと、個人的な考えで、お買い求めいただいた、個人契約でございますので、もっとも住まいの中で必要と思われる水まわりにつきましては、市の方でその部分につきましての補助制度を確立させていただいた訳です。

それ以外の全般的なことになりますと、かなりの費用がかかってきますし、一般の方も当然負担する物には費用がかかっておる訳ですので、現在はこの制度の中で対応していきたいというふうに思っております。

岡田会長

今年、まちづくり協議会で空き家の調査をしましたが、美杉全体でどれくらいの空き家があるのですか。

藤田副主幹

今年度調査をしていただきました空き家につきましては、件数はかなりございます。その中で、まだお住みになっている方のお名前等も拝見しております。これを元に実態調査もこれから進めないといけません。はっきりした数字は申し上げられませんが、調査していただいて、ご報告いただいた件数は100件くらいにはなります。現地に行って確認してもらってる訳ではございませんので、空き家と思われるところを調査してもらっており、盆正に帰ってみえる家も挙げてもらっておりますので、空き家といえるのかという部分までは、まだ調査しておりません。

田中地域振興課長

件数につきましては、担当の方からお話させていただいたのですが、調べをさせていただいてる中で、すんなり空き家情報バンクの物件としてに登録できる物と、持ち主との連絡がとれないなどの物件もあります。今後は、地域の方々のご理解、持ち主さんのご理解をいただきながら、この制度のPRも含めて、地域の方々をお願いしていかないとと思っております。

岡田会長

私も、この調査に携わりましたが、なかなか住んでいない人が他所に住んでいてこの制度を知らない人が多いので、難しいとは思いますがもっとなんらかのPRをしていってもらったらと思います。

田中地域振興課長

その件で、ひとつのPRの方法としまして、24年度の固定資産税の納付通

知に空き家情報バンクの情報を掲載させていただき、持ち主さんにお知らせする方法をとる予定です。あとは、住民の方々がお声かけいただく中でPRができればと思っております。

岡田会長

他にございませんか。

今年度新しく10のまちづくり協議会がひとつになって、まちづくり連絡推進協議会というのを作っていただいて、3月18日にイベントをしていただいたんですが、その前には秋まつりにもまちづくり推進協議会の主催の大きなイベントをしていただきまして地域の皆様にもいろいろこういう活動をしているという事がわかっていただいてきているのかなって気はしている。

委員の皆様はどういう意見をお持ちかお聞かせ願いたいのですが。

岡田委員

空き家バンクの需要が多いということですが、バンクという事は仲介することですね。いわゆる賃貸契約になる訳ですか。制度自体の概要をご説明いただけますか。

田中地域振興課長

田舎暮らしがしたいとか、自分たちで産業に取り組んで行きたいとか、震災もありましたので、安全なところに住みたいとか、そういう方々が現在のところ260名の方に利用登録をしていただいております。物件につきましては、現在のところは、売買物件がほとんどとなっております。なかなか賃貸となりますと、今後家をこれからどうしていくのかという状況でございます。希望としては、賃貸の希望が多いです。何百万も投資して、美杉に住むのかという不安もあろうかと思えます。現在の登録物件はほとんどが売買となっております。売買に関しましては、仲介に関しましては、宅地建物協会さんが対応していただいております。私どもは、情報をいただいて、情報を流すということをしております。

岡田会長

よろしいですか。他にご意見ございませんか。

無いようですので次に進めたいと思えます。

それでは、次の報告事項に入りたいと思えます。

1項目の「平成24年度地域かがやきプログラム事業概要」について説明を受けたいと思えます。

田中地域振興担当主幹

それでは、資料に基づきまして平成24年度にかかります地域かがやきプログラム事業の概要につきまして、ご説明をさせていただきます。

今、ご意見をいただいた内容もあるんですけども24年度に予定しております。

す事業について説明させていただきます。

前回第2回の審議会におきましても申し上げました通り、津市総合計画の中で、重点プログラムとしての地域かがやきプログラムの南部エリアの中で、前期基本計画に位置付けられた事業についての進捗状況の評価や成果等を検証し、後期基本計画に向けての策定にかかります重要な年となります中で、平成24年度の地域振興予算の考え方につきましてご報告をさせていただいた内容を基に予算の要求をいたしました。

なお、ご承知のとおり、平成24年度予算にかかる議案につきましては、議会中のため議決されていませんので、これからご報告する事業予算は、提案されているものとご理解願います。

まず、プログラムの構成の中の、健康で元気な人づくりとして、心豊かな地域コミュニティの形成をめざし、地域づくり事業の推進を図るための支援により、地域づくりを軌道に乗せ集落コミュニティの維持・再生を図り活性化を目指すため、リーダー等の人材育成や協議会の共通課題等対策等一体的なPR活動など、美杉地域のまちづくりの推進を行います。

といった事で、5, 117, 000円の予算を計上しております。

また、健康・安心づくり事業につきましては、引き続き、地域に合った課題等についての調査研究を進めるとともに健康づくりイベントを開催し、地域における健康づくりの推進に努めます。また、公共施設等へのAEDの配置と地域健康相談事業の継続により高齢者等の不安解消に努めます。

また、住民主体の地域に合った、新たな交通システムの制度設計と、当美杉地域の医療に関しての、地域・病院・医師・行政が一体となって守り育てる「地域医療」の「しくみ」を創り上げるために、地域に合った制度設計につきましては、美杉地域におきましては、緊急且つ重要な課題でありますことから地域づくりの中で筋道をつけていく年度とします。

予算額としまして、3, 960, 000円です。

つづきまして、森林セラピー基地事業につきましては、津市森林セラピー基地運営協議会のもと、ロード整備やPR、各種イベントを引き続き実施いただく中で、メニューづくりにより内容を重視した取組に移行し、各拠点部会を中心とした事業を活発化させることといった事によりまして、地域の活性化と繋げ、引き続き、健康増進基地として充実を図り、集客向上に努めて参りたいと考えております。

予算額としまして、7, 025, 000円を計上しております。

次に、二地域居住等推進事業につきましては、豊かな自然環境の中での居住の推進を目指し、津市空き家情報バンク制度の一層の利用促進を図るため、体験・見学・PRなどを引き続き行い、田舎暮らし体験塾の継続実施と空き家情

報バンク利用者のための空き家情報バンク活用者改修補助制度の活用を継続いたしまして、移住交流の推進に努めていきたいと思いをします。

予算額としまして、4,946,000円です。

歴史と文化の拠点整備事業の伝統文化の伝承として、三多気の桜まつり事業の委託をはじめ、君ヶ野ダム公園桜まつり・みすぎ夏まつり・みすぎ秋まつりの補助を引き続き実施してまいります。

予算額として昨年同様11,350,000円を計上いたします。

次に、伊勢本街道を活かした地域づくり事業におきましては、引き続き伊勢本街道沿線住民との協働による地域づくりを進める協議会へ各種事業を委託し、歴史と文化の拠点としての集客向上に努めたいという風に考えます。

予算額として、1,300,000円です。

元気づくり事業として、森林セラピーロードを活用した健康増進事業は、地域かがやきプログラム事業の中の森林セラピー基地事業の一層の事業促進を図るため、平成23年度に引き続き、セラピーロードへ導入したノルディックウォーキングに特化したイベントの実施と各種整備を図ります。

予算額は、1,594,000円です。

また、過疎山村地域における移住・交流促進事業につきましては、地域かがやきプログラムの中の二地域居住等推進事業の一層の事業促進を図るため、空き家情報バンクの利用促進など空き家活用事業の推進に特化して、平成23年度に引き続き田舎暮らしアドバイザー制度の充実と、空き家活用事業を支援していきたいと思いをします。

予算額は、3,668,000円です。

また、その他といたしまして、引き続き地域審議会による審議や、地域支援員の活動による地域支援を行ってまいります。

予算額は、2,663,000円の予算を計上しています。

以上、平成24年度地域かがやきプログラム事業等の概要です。

岡田会長

ありがとうございました。

ただ今、平成24年度にかかります地域かがやきプログラム事業等につきましての概要を説明をいただきました。

このことにつきまして、ご意見またはご質問ございましたら、よろしく願います。

岡田委員

自然を活用した産業の活性化という先ほどの協議委員会で評価がDになってますね。Dになっている評価について予算は措置されてないという事でございますが、今後開発とか調査研究にお金があると思うんですが、その点はどうでし

ようか。

開発とか予算が必要やと思います、その点はどうでしょうか。

矢倉支所長

先ほど水井委員さんからもご質問がございました事と重なるとは思いますが、新食材につきましては3年間という事で当初から支援していくというかたちで今まで進めておりました。その中でオオイチョウダケが思ったより進展していないという現実はある訳なんです、締めとして3年間で予算的なものは終了したというかたちの中で、先ほど申し上げましたように平成24年度の中で今後どのようにしていくかというような事を今まで3年間の事業展開の内容の検証なり分析なりした中で、今後今のままでは予算がつかいませんで、また違ったかたちで支援が受けられるように検討して協議しながら予算要求していきたいという事で考えております。従いまして24年度につきましては23年度の中でそういった取り組みという事が出来ておりませんでしたので、0というかたちでございます。

岡田委員長

今後検証した時点で取り組みをしているという事で

結城委員

しかしそのオオイチョウダケ、自然の物でも環境によってあがるのに、菌打ってあがるもんかあがらんもんか、あがるわけがない。山へ採りに行ってもあがとらん年は何もあがらんやで自然に逆らってるのそんな訳にはならん。そやで頑張るとるんやけど、頑張ってもらうのはええんやけども、けどやっぱり環境を見て事業も進んでもらわなあかん。

はい、質問。

かがやきプログラムを見せてもらってますが、地域農業の事はひとつもわかっていない。地域に先立つ農業これうたわれていない。予算というのは全然つかないのかな、百姓には。

水本地域振興課産業振興・環境担当副参事

ご審議いただいているのは地域かがやきプログラム事業という事で審議いただいております、農林水産業にかかわる予算については、別途ですので本審議会の方には今日はプログラム事業に関してご協議いただいているという事です。

結城委員

別に枠があるという事ですね。

水本地域振興課産業振興・環境担当副参事

そのように農林水産業費でございます。

結城委員

わかりました。別枠であるということですね。

岡田委員長

他には？

よろしいですか。

それではないようですので、次に進めたいと思います。今後ともよろしく事業の推進をお願いしたいと思います。

それでは次に進めさせていただきます。

報告事項2の津市総合文化センター整備事業推進委員会について報告願います。

大西委員

失礼いたします。資料3の方をご覧ください。

去る1月12日に開催されました第10回津市美杉総合文化センター整備事業推進委員会の結果について報告させていただきます。

事項1の仮称津市美杉総合文化センター基本設計について、委員会では同センターの基本設計について当局から説明を受け、協議、検討を行い、以下の意見をまとめました。

1、ステージの奥行きを計画4メートル幅から、取り外し出来るステージを設置するよう検討する。2、進入路の階段に屋根を設置するよう検討。3、障害者用駐車場を増設するよう検討。4、展示スペースを確保するよう検討。5、基本設計の配置計画を了承する。

以上の意見を委員会としてまとめ申し入れしました。

次に事項2のその他としまして、当局から津市都市デザイン委員会の協議を受けるため、基本設計の配置計画等修正がある旨の報告がありました。

以上ご報告申し上げます。

岡田委員長

ありがとうございました。

今、大西委員の方からご報告いただきました資料3にございます第10回の整備事業推進委員会の報告をいただきまして、美杉総合文化センター整備事業につきましてのステージの奥行きを計画4メートル幅から、取り外し出来る2メートル幅を設置するよう検討するなど4つの項目の検討と、基本設計の配置計画を了承されたとの意見を委員会としてまとめられたという事をご報告いただきました。

そのステージ幅4メートルから2メートル幅を取り外しが出来るという事は6メートルになるということですか。

大西委員

そうです。4メートルは固定で2メートルは移動できます。

岡田委員長

他にご質問のある方はございませんか。

今もう進入路を造っていただいております、設計も現在進められていますので26年の春には完成させていただいて使用していただく計画になっているようですので、引き続き事業を進めていただきたいと思います。

よろしいですか。

それでは、本日の議題は以上でございますが、その他、委員の皆さんで何かございませんか。

よろしいですか。

何でも結構ですが。

事務局の方はありませんか。

矢倉支所長

冒頭のあいさつでも申し上げましたんですが、過疎地域自立促進計画、平成27年度時限立法というかたちで制定されておりました。私ども事業を進める中で過疎地域自立促進措置法があるという事の中で、いろんな財政支援があるという事で先ほども説明申し上げました地域かがやき事業でありますとか、道路整備事業でありますとか事業が出来るという事でございます。情報が入りまして、私どもその後どうなるのかというのが一番気になることで、要望の中でも引き続き延長して欲しいという事も要望させていただいておりますが、民主党の過疎対策ワーキングチームというのがあるようで、その中で現在2015年という事なんです、2016年から5年間、単純延長するというようなちょっとホットな情報が入りましたんですが、今年末を目途に結論を出すという情報なんです、どういうかたちになるかわかりませんが、私どもにとりましては本当に良報という事でございますので、また新しい情報が入りましたらいろんなところでPRしていきたいと考えております。

それと今回最後という事で皆様方には岡田会長さんをはじめ皆様方には2年間美杉地区地域審議会委員という事で何かとご協議いただきまして本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます次第でございます。

皆様方には今後とも美杉地域の地域振興にあたりまして私どもにご指導ご鞭撻をいただきます事お願い申し上げますとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げますお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

岡田委員長

ありがとうございました。

それでは長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございました。

これで本日の会議を終了させていただきたいと思いますが、私どもが選任されました第3期の地域審議会の最終回ということになりますので、会長と言う

事で2年間務めさせていただきましたお礼を兼ねまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

皆様には2年前の4月から美杉地区地域審議会委員として大変お忙しい中お世話をお掛けいたしました。

私、第1回の審議会において会長に選任されまして重責を任させていただきましたが、今日まで皆様のご支援ご協力をいただき務めさせていただくことができました。ありがとうございました。

昨年度は平成22年度でございますが、6回の審議会、本年度3回の審議会を開催いたしまして、津市の総合計画にかかります地域かがやきプログラム事業や津市過疎地域自立支援計画の進行管理について皆様から多くの貴重なご意見や提言をいただき、事業が着実に進捗するよう審議会として進めてきたところでございます。

現在、当美杉地域では多くの事業が地域住民と総合支所の職員と一体となって取り組まれておりまして、着実に成果が上がっていていると思っております。どうかこの取り組みが今後も継続され、地域の活性化と過疎地域の暮らしの安心安全づくりを進めていただきますようお願いをいたしたいと思っております。

長いようで短い2年間でございますが、皆様に支えていただき職務を全うする事が出来ました。皆様のご支援ご協力に厚くお礼申しあげ、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

これで本日の審議会を終わらせていただきます。

どうもご苦勞様でございました。

〈終わり〉